



# 2026年12月期 第2四半期決算説明資料（概要版）

※2026年12月期 第2四半期決算短信 補足資料

株式会社サイフューズ （証券コード：4892）

2026年 8月 14日

# 2026年12月期第2四半期 業績ハイライト

## 外部環境

- 新たに閣議決定された「骨太の方針」に基づき、成長投資や新産業創出に向けた政府支援が継続的に推進
- 当社事業分野は国の17の成長戦略分野のうち「合成生物学・バイオ」「創薬・先端医療」分野等、重点投資分野に位置付けられており、政策支援のもと、新たな再生医療等製品の市場拡大及び経済成長が期待される状況

## 経営成績

- 売上高 104,321千円、営業利益△417,507千円、中間純利益 △434,588千円

## 事業領域

### 1. 再生医療領域

【注力】当社再生医療等製品の製品上市へ向けたパイプライン開発及び事業化活動・提携等に注力

【進捗トピックス】主要パイプライン（末梢神経再生及び骨軟骨再生の3つのパイプライン）の着実な開発進展

- 同種（他家）末梢神経再生：医師主導治験を開始し、順調に進展（現在、治験実施中）
- 骨軟骨再生：製造及び臨床体制を構築し、治験開始に向け、順調に進展（治験届提出）
- 株式会社クラレと将来の社会実装や再生医療等製品の商業化を見据えた業務資本提携を締結し、協業開始（1/9：適時開示）

### 2. 創薬支援領域

【注力】機能性細胞デバイス（FCD®）のマーケット及びベース収益拡大へ向けた製品ラインナップ拡充に注力

【進捗トピックス】新製品（3D細胞製品「ヒト3Dミニ肝臓®／疾患モデル」）の販売開始

### 3. デバイス領域

【注力】バイオ3Dプリンタを中心としたデバイス販売に加え、ベース収益確保へ向けた新製品開発等に注力

【進捗トピックス】新製品「CAP（折りたたみ式コンパクト分注機）」販売開始

## 協業・提携

- パートナー企業との共同開発等による製品製造環境整備や商業生産技術開発が進展

- 日本精工株式会社：再生医療・3D細胞製品の商業生産へ向けた新型バイオ3Dプリンタ（3/17：プレスリリース）
- 株式会社クラレ、ZACROS株式会社、千代田化工建設株式会社と商業生産を視野に入れた、大量培養技術の開発を実施

## その他

- 外部専門機関や行政による事業採択実績：福岡県 令和8年度ソーシャルインパクトプロジェクト 等
- 学会発表：第25回日本再生医療学会総会、TERMIS-EU 2026、2026 MPS World Summit、第53回日本毒性学会学術年会 等
- 展示会：CPHI Japan 2026、ifia JAPAN 2026、FOOMA JAPAN 2026、第38回 ものづくりワールド 等
- メディア：Forbes JAPAN、日本経済新聞 等
- 受賞歴：第6回知財番付 専門性部門グランプリ

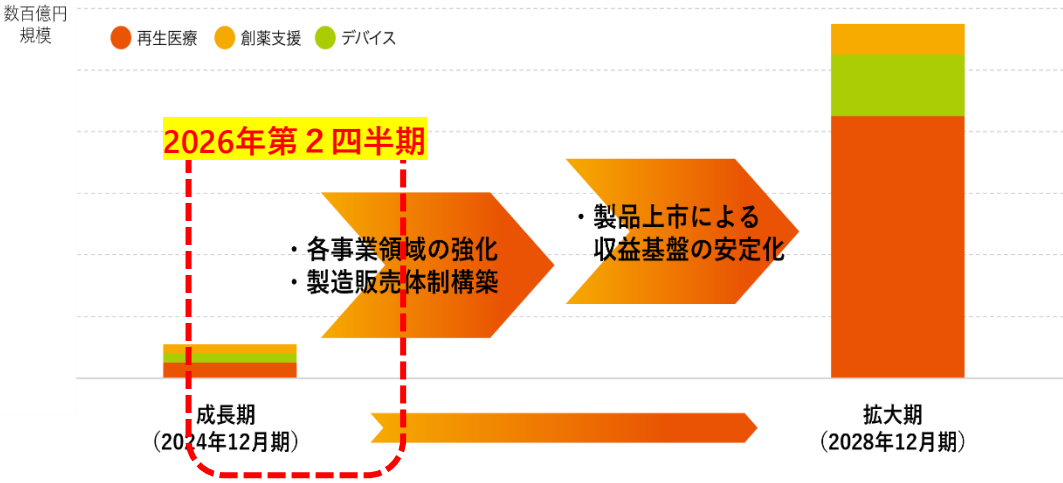
# 2026年12月期第2四半期 決算概要：業績ハイライト

- 2026年第2四半期の位置づけ

成長期⇒拡大期⇒発展期

成長期

再生医療等製品の上市により収益が立ち上がるまで、バイオ3Dプリンタの販売や3D細胞製品の各種受託等、複数領域における事業収益を着実に積み上げ、将来の再生医療等製品の製造・販売へ向けた成長投資を進める計画。



損益計算書

(単位：千円)

| 勘定科目     | 2025年12月期<br>第2四半期 | 2026年12月期<br>第2四半期 | 増減額     |
|----------|--------------------|--------------------|---------|
| 売上高      | 29,420             | 104,321            | 74,901  |
| 売上原価     | 14,755             | 39,521             | 24,766  |
| 売上総利益    | 14,664             | 64,799             | 50,135  |
| 販管費合計    | 485,912            | 482,307            | △3,605  |
| 営業損失     | △471,248           | △417,507           | 53,741  |
| 営業外収益    | 84,083             | 11,561             | △72,522 |
| 営業外費用    | 14,085             | 27,371             | 13,286  |
| 経常損失     | △401,250           | △433,317           | △32,067 |
| 税引前中間純損失 | △401,250           | △433,317           | △32,067 |
| 法人税等     | 1,271              | 1,271              | -       |
| 中間純損失    | △402,521           | △434,588           | △32,067 |

貸借対照表

(単位：千円)

| 勘定科目      | 2025年12月期 | 2026年12月期<br>第2四半期 |
|-----------|-----------|--------------------|
| 【流動資産】    | 3,934,469 | 3,565,351          |
| 現金及び預金    | 3,726,535 | 3,391,527          |
| 【固定資産】    | 331,557   | 360,453            |
| 資産の部合計    | 4,266,026 | 3,925,804          |
| 【流動負債】    | 866,063   | 920,282            |
| 【固定負債】    | 642,336   | 383,340            |
| 負債の部合計    | 1,508,399 | 1,303,622          |
| 【株主資本】    | 2,656,882 | 2,497,024          |
| 純資産の部合計   | 2,757,627 | 2,622,181          |
| 負債及び純資産合計 | 4,266,026 | 3,925,804          |

# 当社の成長戦略における2026年12月期の位置付け・注力ポイント

開発面・事業面の注力ポイントを着実に達成することにより、今後の拡大期に向け、細胞製品及びデバイス製品による**ベース収益確保**と、再生医療等製品の上市による**成長収益**を両輪とした、サイフューズ独自の自律的かつ安定的な収益モデルの確立を目指す。

## 【開発面】「自家・他家」同時開発によるパイプラインバリュー（第2世代製品等）の拡大

- ・ 基盤技術の社会実装並びに再生医療等製品の商業生産へ向けた、臨床試験の着実な遂行
- ・ 自家細胞の安全性と生体親和性を強みとした「第1世代製品」に加え、医療ニーズへの即応、ターゲット市場の拡大、「同種（他家）製品」（第2世代製品）も加えた、複数世代品の同時開発により、幅広い患者ニーズに応える強固な製品ポートフォリオを構築

## 【事業面】 再生医療等製品上市に向けた事業化活動の加速

- ・ 複数領域における開発成果や技術普及・需要に基づく収益拡大、及び生産性向上による収益向上
- ・ 協業・業務資本提携等によるパートナーシップの拡大により、将来の再生医療等製品の製品上市後の収益性を抜本的に高める事業基盤を整備

### 再生医療領域

新たな再生医療等製品の開発・販売

再生医療等製品



### 創薬支援領域

画期的な3D細胞製品の開発・販売  
及び各種受託

FCD製品

3D細胞製品  
の各種受託



### デバイス領域

バイオ3Dプリンタ及び  
培養周辺機器の開発・販売

バイオ3D  
プリンタ

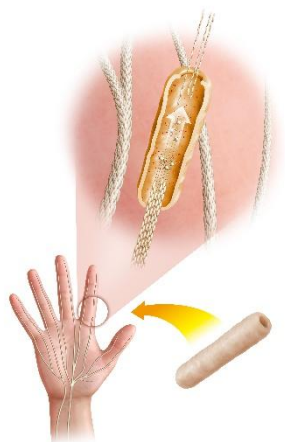
関連消耗品  
及び周辺機器



### ● 末梢神経再生

末梢神経を損傷・断裂をした患者さまへ

「細胞製神経導管」を移植することで、断裂した神経を再生し、感覚神経や運動神経を再生



#### 自家細胞製品開発

- 医師主導治験の良好な結果を受け、企業治験開始に向け、準備を進展  
協業パートナーである、京都大学、太陽ホールディングス及び太陽ファルマテックと共に再生医療等製品の製造承認取得に向けて産学官連携体制を強化

#### 同種（他家）細胞製品開発

- AMED事業「末梢神経損傷に対する同種臍帯由来間葉系細胞を用いた三次元神経導管移植治療の開発」において京都大学、東京大学と共に同種細胞製品を開発

2026年2Q: 同種末梢神経再生の医師主導治験実施中



自家・同種製品同時開発により、効率的な製造・生産体制を構築中

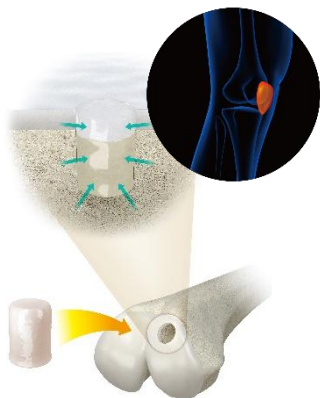


製造後、京都大学へ輸送

### ● 骨軟骨再生

変形性膝関節症等により、損傷が骨まで進行し、骨軟骨の再生を必要とされる患者さまへ

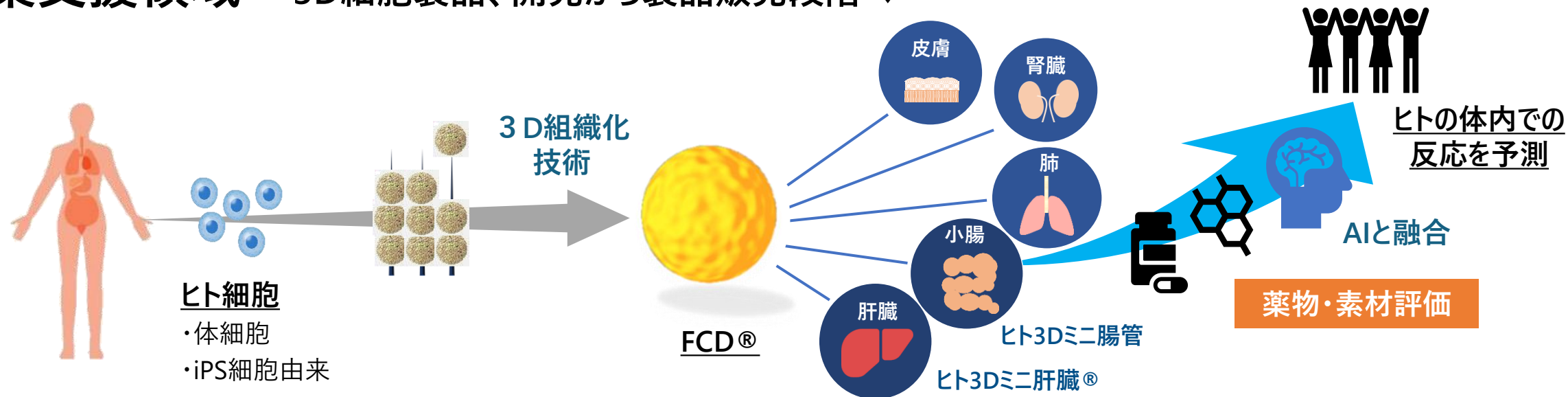
骨軟骨損傷部へ「細胞製骨軟骨」を移植することで骨と軟骨の両組織を同時に再生



- AMED事業「バイオ3Dプリンター技術を用いた膝関節特発性骨壊死に対する骨軟骨再生治療」（代表機関：慶應義塾大学）において、医師主導治験開始に向けた準備を進展  
治験開始に向け、藤田医科大学及び慶應義塾大学病院と共に臨床・製造体制を整備  
2026年2Q: 製造プレラン完了⇒倫理委員会申請/承認⇒治験届提出

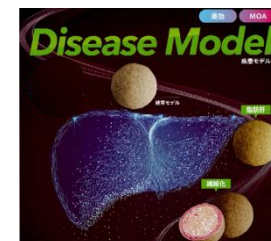
- 殿町・羽田エリアにおける産学官コンソーシアム「CReM TONOHANE」において、日本発製品の再生医療の社会実装及びグローバル展開を目指す活動を促進

 **CReM TONOHANE** <https://crem-tonohane.jp/>

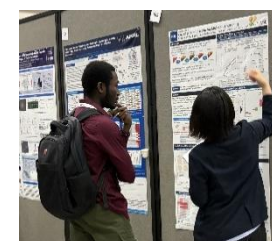


### ■ 事業進捗

1. 商品販売：新FCD製品・ヒト3Dミニ肝臓/疾患モデルの販売・受託開始  
→販売代理店5社と提携
2. 学会・展示会：開発製品の特長・適用事例を国内外の主要学会で学術発表  
→技術優位性と商品価値をアピール
3. 市場開拓：食品分野の展示会に出展（ifia JAPAN、FOOMA JAPAN）  
→機能性食品開発におけるFCD製品の市場ニーズ把握
4. 次期技術開発：東京都中小企業振興公社助成事業  
→次期製品の技術開発完了



1. ヒト3Dミニ肝臓/疾患モデル販売



2. 2026 MPS World Summit @米国において発表



3. 食品分野の展示会出展（ifia JAPAN、FOOMA JAPAN）

# デバイス領域 商業生産を見据えた開発段階へ



## 新製品開発・販売



「CAP:折りたたみ式コンパクト型分注機」  
販売開始（2026年6月）

## ■ 事業進捗

### 1. システム開発

- ✓ 熟成培養工程で利用するインキュベータ内設置可能な循環培養ポンプの開発完了



循環培養ポンプ

### 2. 販促・展示会

- ✓ 第25回日本再生医療学会総会（2026年3月）にて、日本精工株式会社とともにブース展示。新型バイオ3Dプリンタの技術・開発を紹介
- ✓ CPHI国際医薬品開発展示会（2026年4月）、ものづくりワールド展示会（2026年7月）にて、サイフューズが再生医療の製造で培った様々な技術を紹介



# CYTOPICs (2026年 上半期トピックス)

PR・メディア戦略や社会貢献活動、ステークホルダーとの共創等、サイフーズの企業価値向上に向けた情報発信

## プレスリリース

新たに歯科領域において治療法開発を進める他、パートナー企業との新技術開発や新製品の販売開始等、当社技術の社会実装・事業基盤構築が進展。

業務資本提携  
(クラレ社)



新型バイオ3Dプリンターの開発  
(NSK社)



歯科領域の新たな治療法開発  
(広島大学)



新製品の販売開始  
(ローツェライフサイエンス社)



## メディア

当社の研究開発や基盤技術が「日経新聞」や「Forbes」といった著名なメディアに取り上げられ、製品上市に向けた企業・製品の認知向上とプレゼンス強化が加速。

日本経済新聞



Forbes Japan



## イベント

再生・細胞医療の実用化・産業化促進に向け、学会や業界展示会での技術発信、知財での表彰に加え、文化庁主催イベントへの協力等により幅広い層への啓蒙活動を行う等、社会理解の促進活動を拡大。

第25回日本再生医療学会総会



国際学会  
2026 MPS World Summit



第6回 知財番付 受賞



CPHI Japan 2026



# 本資料の取扱に関するお願い

- 本資料は、株式会社サイフューズ（以下「当社」といいます。）の投資家の皆様に対する情報提供のみを目的として当社が作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。
- 投資のご検討にあたっては、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料は投資家の皆様へ当社をご理解いただくため、正確性・公平性を期し慎重に作成されたものでありますが、当社の有価証券への投資判断にあたって必要となるすべての情報が含まれているものではないこと、また、本資料に記載されている情報の真実性、正確性または完全性について当社として保証するものではないことにつきご了承ください。
- 本資料には、当社の現在の見通し、予想、計画等を含む将来に関する記述が含まれておりますが、新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、様々な要素によって変動する可能性があります。
- 本資料の使用または内容、情報等に関して生じたいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いかねます。
- 本資料の記載内容及び使用画像や写真・イラスト等について、当社の書面による事前の同意なしに、複製、複写、転載、転用等の二次利用を行うことを固く禁止します。

本資料は決算短信の発表とともにその補足資料として第2四半期決算説明資料（概要）をお示しするものであり、詳細につきましては「2026年12月期第2四半期決算説明資料」（2026年8月20日（木）開示予定）をご参照ください。